

【 2015年度 儲かる研修会 】

『 補助金活用術 』

京都電工(株) 代表取締役 河村泰三
(京都府電機商業組合専務理事)

平成27年9月4日(金)



公的補助金の種類

■ 国の補助金 → 国内全域が対象なので大規模

(過去の例) 太陽光発電・エコキュート・エコポイント・HEMS

(継続中例) 省エネ住宅ポイント・蓄電池・EV・PHV自動車・雇用関係助成金

■ 地方自治体の補助金 → 地域限定なので小規模

(過去の例)

(継続中例) 太陽光発電・太陽熱利用・蓄電池・HEMS・生ゴミ処理機・EV・PHV自動車
プレミアム商品券

■ 窓口限定の補助金 → 中央会・商工会議所・京都産業21

(過去の例) エネルギー対策交付金緊急事業・緊急負担軽減事業・経営応援事業

(継続中例) 中小企業等収益体質改善支援事業・小規模事業者持続化補助金(7/31終了)

補助金活用の種類

■ 自店や自社で活用する補助金

- ※ 中小企業ステップアップ事業補助金(平成25年)
- ※ 小規模事業者持続化補助金(7/31終了) → 日本商工会議所
- ※ 雇用関係助成金 → 厚生労働省

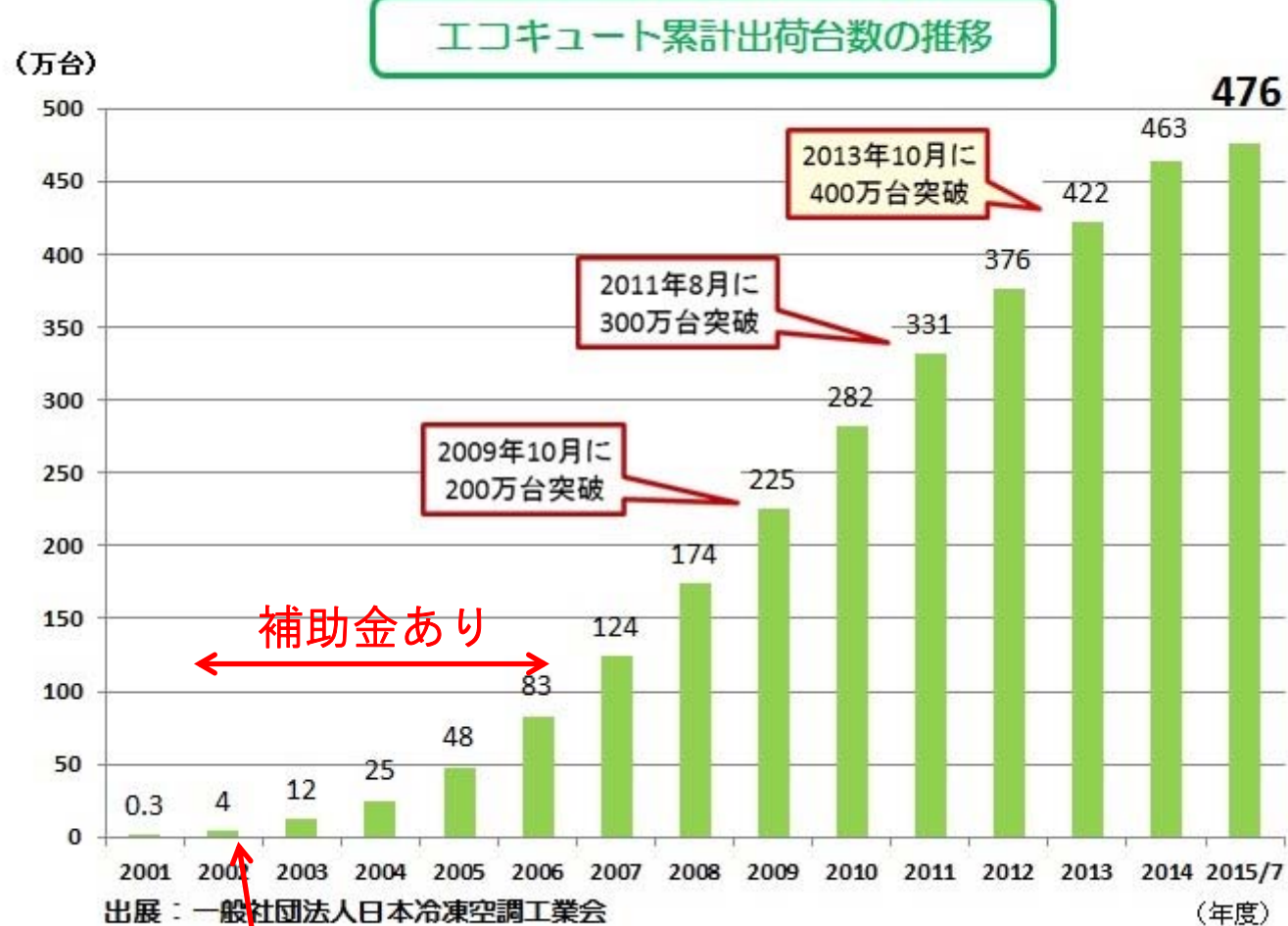
■ 商売ネタとして利用する補助金

- ※ エネルギー自立化対策事業(平成25年) → 京都産業エコエネルギー推進機構
- ※ 中小企業緊急電力コスト負担軽減事業(平成25年) → 京都産業21
- ※ エネルギー使用合理化等事業者支援事業(平成26年) → 環境経済株式会社
- ※ コスト縮減設備投資支援事業(1/9終了) → 京都産業21
- ※ 自立分散型エネルギー利用設備設置助成制度 → 京(みやこ)安心すまいセンター
- ※ HEMS補助金 → 京都府地球温暖化防止活動推進センター

■ 組合等運営で協賛・協業して運用する補助金

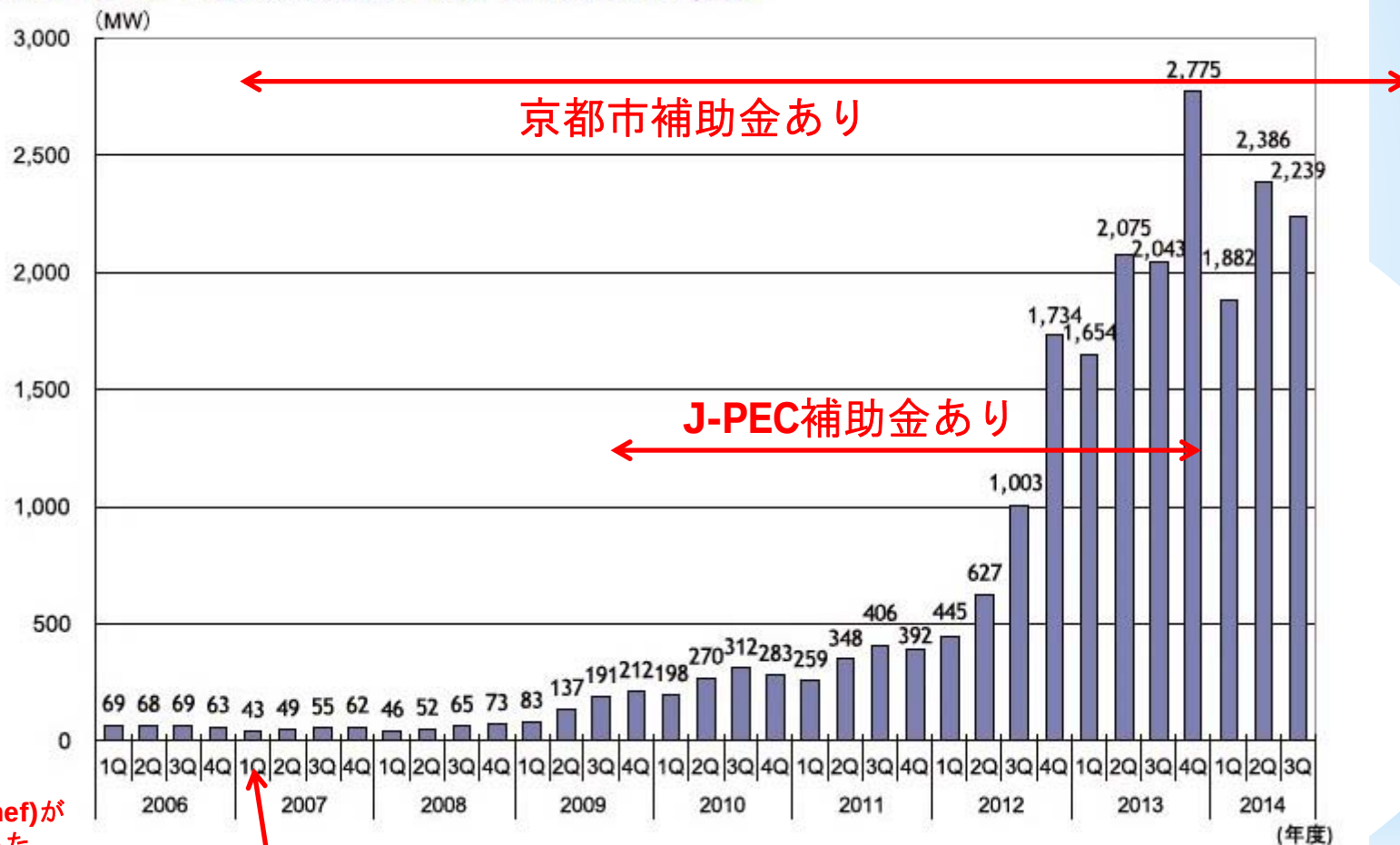
補助金と普及率

エコキュート編



自宅に設置→その後55台販売(33台が補助金付きで販売)

【第213-2-9】太陽電池の国内出荷量の推移



出典：太陽光発電協会資料を基に作成

自宅に設置→その後1188PV販売(総発電出力282Kw、総工費1億4000万)

蓄電池システム編

【2014年度京都市補助金】

助成対象設備・助成金額		
対象設備	助成金額	(参考)国等の補助制度の有無 ※詳細はホームページをご覧ください。
太陽光発電システム(全量を売電する場合は対象外)	最大出力1kW 当たり 2万円(上限4kW) ※1	無
蓄電システム	蓄電容量1kWh 当たり 5万円(上限6kWh)	有 窓口：環境共創イニシアチブ(SII) ☒ SII ☐ 税関
太陽熱利用システム	強制循環(分離)型	無
	自然循環(一体)型	
家庭用燃料電池システム(エネファーム)	8万円	有 窓口：一般社団法人燃料電池普及促進協会(FCA) TEL: 03-5472-1190 ☒ FCA ☐ 税関
HEMS(家庭用エネルギー管理システム) ※3	2万円	有 担当課：京都府環境部エネルギー政策課 TEL: 075-414-4297

$5万円 \times 5.5Kwh = 275,000円 + 755,000円 = 1,030,000円$



自宅に設置→その後2セット販売(販売単価約180万円)

【2014年度sii補助金】

蓄電池	蓄電容量	基準価格	目標価格	補助金額	自己負担額	自己負担額 (kWh単価)
日本電気(NEC) ESS-H-002006B	5.5kWh	169万円	55.6万円	75.5万円	93.4万円	16.8万円
日本電気(NEC) ESS-H-002006B1-MH	5.5kWh	169万円	55.6万円	75.5万円	93.4万円	16.8万円
ソニー ESSP-3005/18P	5.6kWh	171万円	56.4万円	76.3万円	94.6万円	16.8万円
エリーパワー EPS-11	6.2kWh	184万円	59.6万円	82.9万円	101万円	16.3万円
東芝ライテック ENG-B6630A1-N1	6.6kWh	192万円	62.8万円	86.1万円	105.8万円	16万円
東芝ライテック ENG-B6630A1-N2	6.6kWh	192万円	62.8万円	86.1万円	105.8万円	16万円
ニチコン ESS-U1SK	7.2kWh	199万円	67.6万円	87.5万円	111.4万円	15.4万円
ニチコン ESS-U1N1	7.2kWh	199万円	67.6万円	87.5万円	111.4万円	15.4万円
ニチコン ESS-SP2S	7.2kWh	199万円	67.6万円	87.5万円	111.4万円	15.4万円
京セラ EGS-LM72A	7.2kWh	199万円	67.6万円	87.5万円	111.4万円	15.4万円
京セラ EGS-LM72B	7.2kWh	204万円	67.6万円	90.9万円	113万円	15.7万円
デンソー DNHCLB-AHW8	8.2kWh	219万円	75.6万円	95.5万円	123.4万円	15万円

ということは . . .

補助金活用の基本

1. まず最初に自宅や自社で試してみてメリットを知る



2. 実体験と補助金の優位性を生かした営業を展開する



3. 申請書や実績報告書等は間違いなく正確に記入する



4. 思いついたらすぐに行動する習慣を身につけておく

常に情報収集に努めること

今すぐ取り組める旬の制度は . . .

2016年、電力小売自由化で何が変わるか

日本再興戦略

クリーン・経済的なエネルギー需給の実現(中短期工程表)

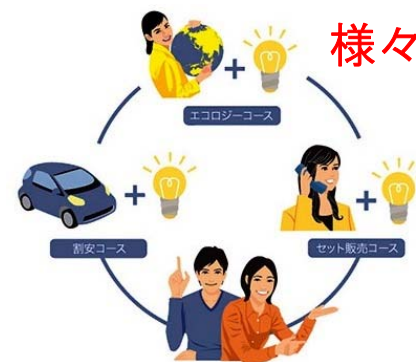
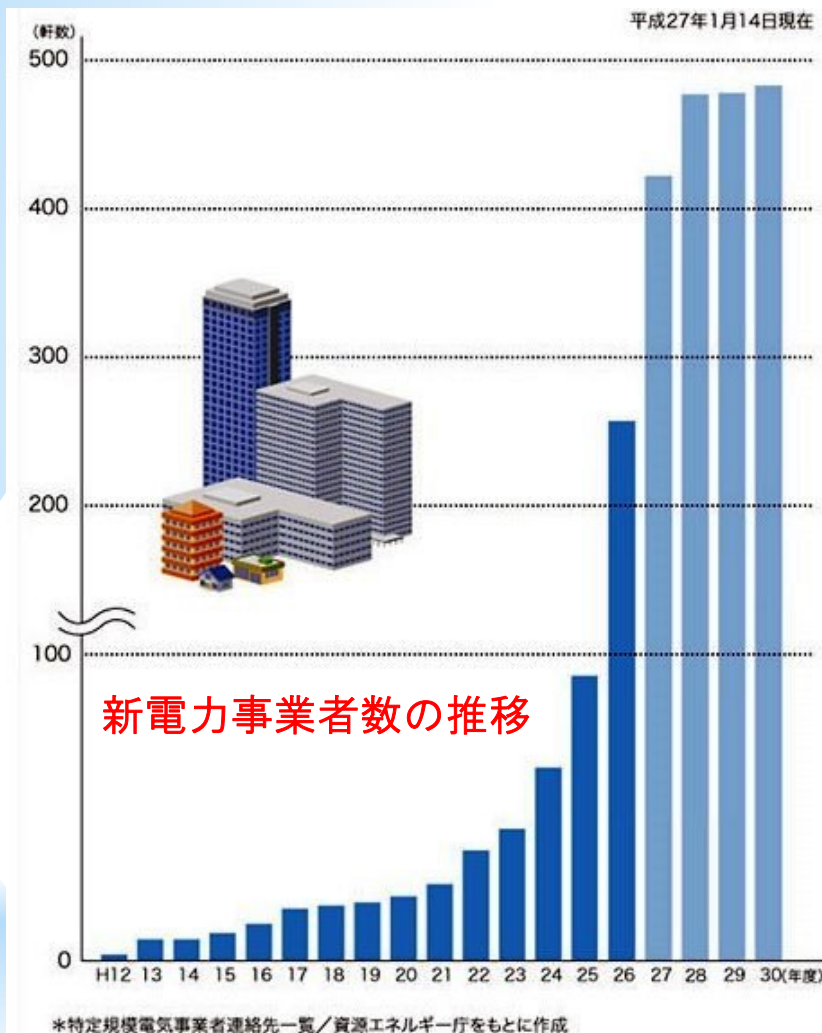
国土交通省

	2013年度		2014年度	2015年度	2016年度～	KPI
	概算要求 税制改正要望等	秋 年末	通常国会			
エネルギーを賢く消費する社会の実現に向けた工程表	<エネルギーマネジメントシステム>				2020年代早期に一般家庭を含めスマートメーター化	(スマートメーター) ・2020年代早期に一般家庭を含めスマートメーター化
	電力会社等によるスマートメーターの本格導入を促進					
	HEMS, BEMS, MEMS, CEMS等の普及			料金メニューの多様化(前掲)等に伴い、HEMS・BEMS, MEMS, CEMS等が本格普及開始		(次世代自動車) ・2015年からの燃料電池自動車の市場投入。 ・2030年までに新車販売に占める次世代自動車の割合を5～7割とすることを指す。
	電力利用データを利活用した新サービス創出に向けてプライバシーポリシーの検討等					
	スマートコミュニティ4地域でのデマンドレスポンスの実証			デマンドレスポンスの普及		
	<次世代自動車>					
	EV・PHV・CDVの導入促進を通じて初期需要を創出			市場の自立化		(燃料電池) ・家庭用燃料電池(エネファーム)は、2020年に140万台、2030年に530万台の普及を目指す。
	電池、充電制御等の国際標準化を進める					
	充電器10万基整備			進捗を踏まえて更なる取組		
	燃料電池自動車の市場投入と水素ステーションの先行整備(4大都市圏を中心に100箇所)			普及の拡大		(トップランナー制度) ・建築材料についても今年度中にトップランナー制度を導入。 ・既存のトップランナー制度においても、夏までにLED電球を追加する。
	<燃料電池、省エネ家電、省エネ住宅・建築物等の省エネ技術関連製品・サービス>					
	家庭用燃料電池(エネファーム)の導入促進			自立普及の拡大		
	エコキュート(電気温水機器)・複合機・プリンター(本年3月追加済み)					
	LED電球					(住宅・建築物) ・新築住宅・ビルの省エネ基準適合率100%(2020年目標) ・(住宅)2030年の新築住宅が平均でZEHを実現 ・(建築物)2030年の新築建築物が平均でZEBを実現
	省エネ法改正					
	建築材料(断熱材・窓など)					
					住宅・建築物(大規模)の省エネ基準適合義務化	

8

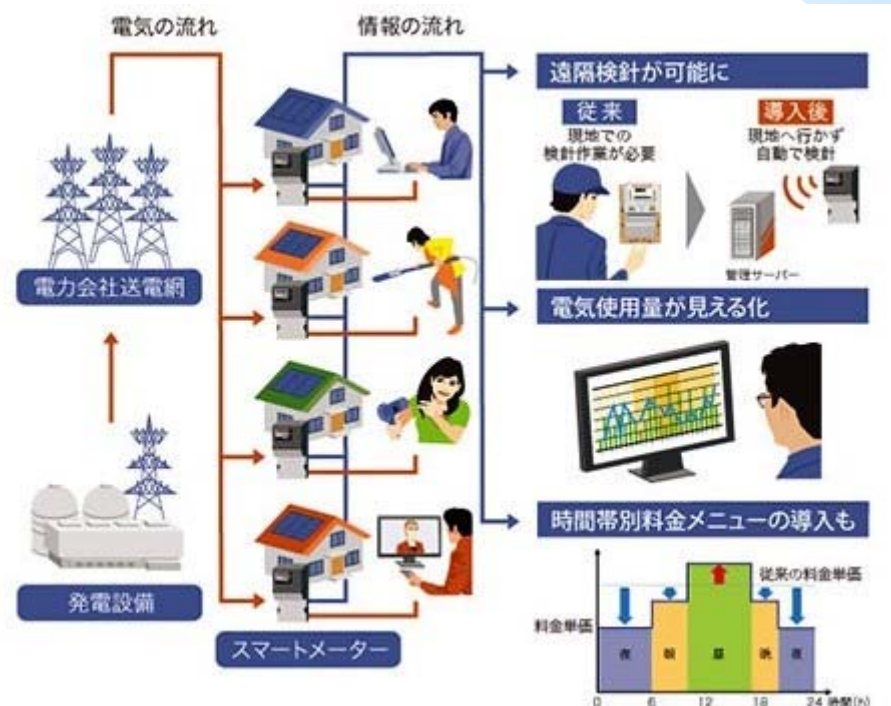
消費者が電力会社を選べるようになる

電力自由化によって様々な変化が...



様々なセット割引が実現する

- 通信とセット割
- ガスとセット割
- ガソリンとセット割
- 家電製品とセット割
- インターネットとセット割



メリットが実感できる時代がやって来る

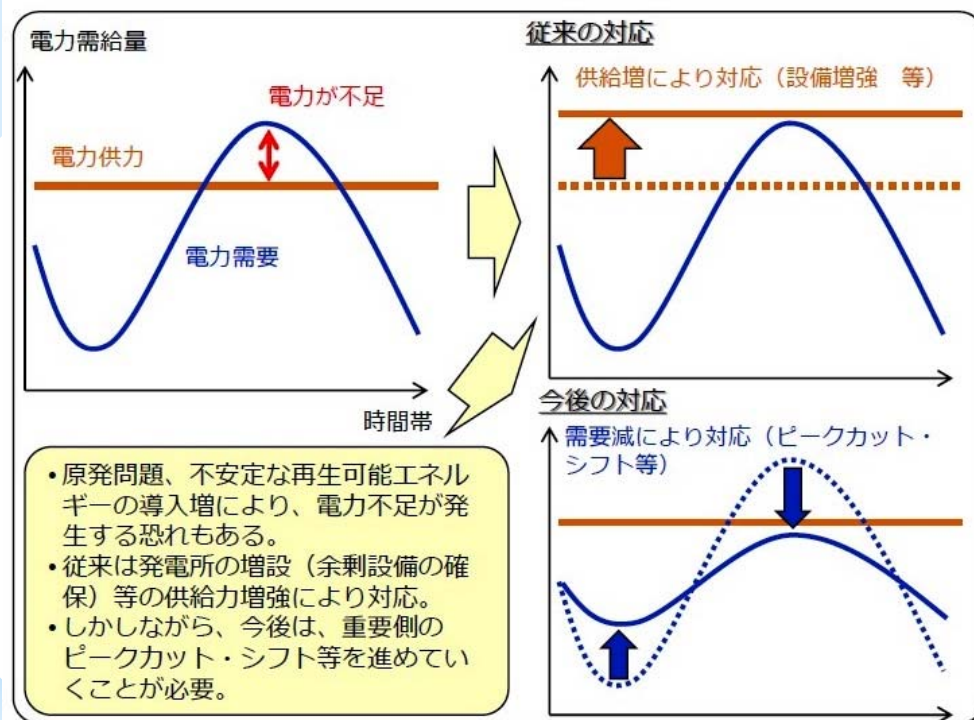
スマートメーターとHEMSの必要性

エネルギーマネジメントによる省エネ・ピーク対策の実現



- 省エネ・ピーク対策を推進するためには、エネルギーマネジメントによる需要コントロールが重要。
- 2030年までに全世帯（5,000万世帯）にHEMSを普及するとの政府目標を実現すべく、エネルギー政策を強力に推進しているところ。

※現在のHEMS導入数は7万世帯であり、普及率は0.2%にも満たない。

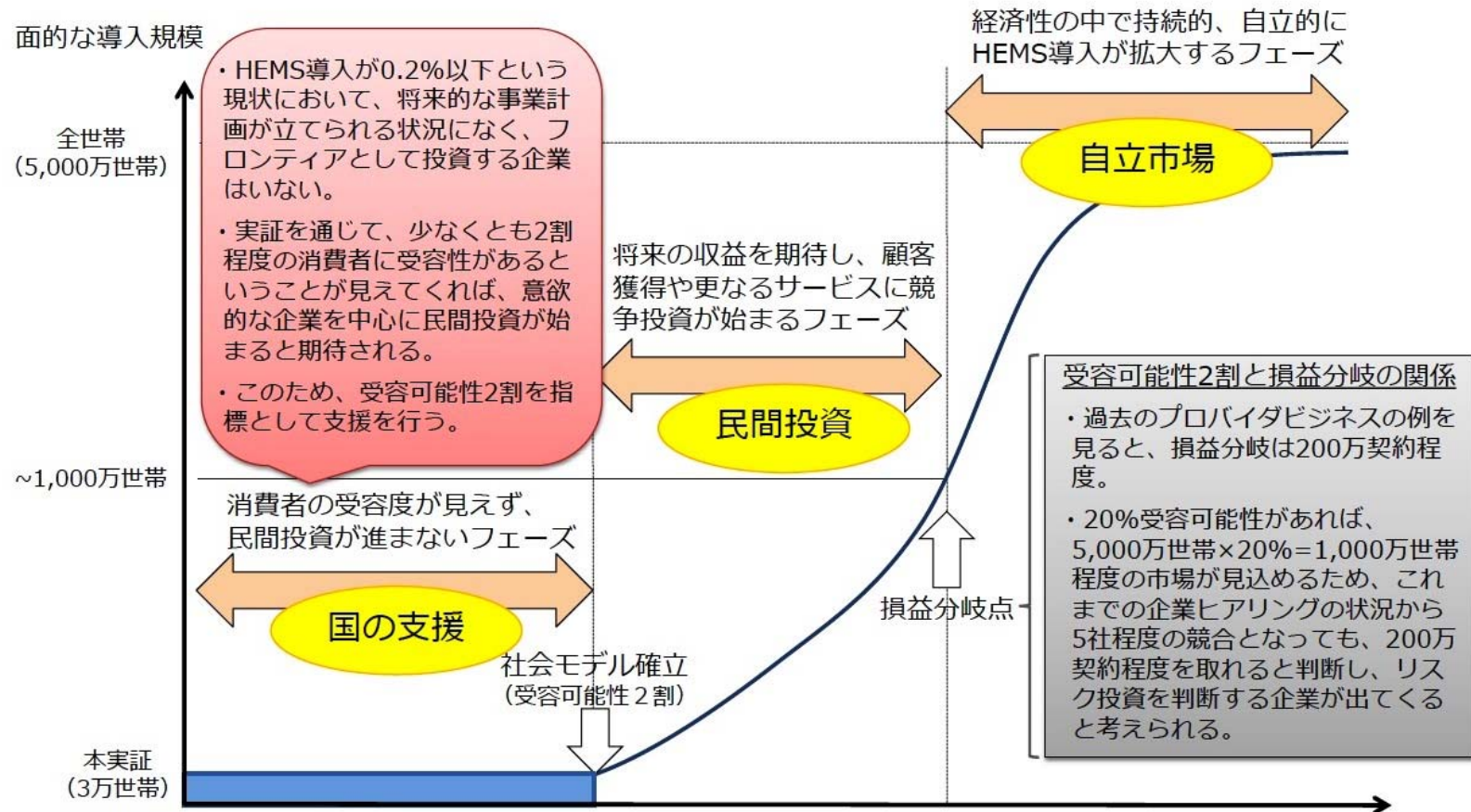


1家庭のHEMS導入省エネ効果：平均電力消費量300kwh/月（電気事業連合会調べ）×12ヶ月×節電率10%（電力中央研究所調べ）=360kwh/年
全世帯に導入された場合の効果：360kwh×5,000万世帯=180億kwh/年

電力使用量の見える化や新電力料金メニューの設定・運用に不可欠。

電力自由化がHEMS普及の引き金に?!

HEMS普及に向けた道筋



太陽光:40年かけて80万台
HEMS:2年かけて7~9万台

規模ポテンシャルが数倍

今なら、HEMS普及に補助金活用

助成対象設備・助成金額

対象設備	助成金額	(参考)国等の補助制度の有無 ※詳細はホームページをご覧ください。
太陽光発電システム(全量を売電する場合は対象外)	最大出力1kW当たり 2万円(上限4kW)※1	無
蓄電システム	蓄電容量1kWh当たり 5万円(上限6kWh)	有 窓口：環境共創イニシアチブ(SII) ☐ SII ☐ 他
太陽熱利用システム	強制循環(分離)型 10万円※2	無
	自然循環(一体)型 5万円※2	
家庭用燃料電池システム(エネファーム)	8万円	有 窓口：一般社団法人燃料電池普及促進協会(FCA) TEL：03-5472-1190 ☐ FCA ☐ 他
HEMS(家庭用エネルギー管理システム)※3	2万円	有 担当課：京都府環境部エネルギー政策課 TEL：075-414-4297

【京都府補助金】

- ◆ 機器購入代金の補助に限定。工事代は補助対象外。
- ◆ 最大10万円の補助 (京都府のエコ融資を活用すれば加算)

<http://www.kcfca.or.jp/hems>

【京都市補助金】

- ◆ 機器購入金額に関係なく一律20,000円の補助。
- ◆ 設置後60日以内に申請 (京(みやこ)安心すまいセンター宛)

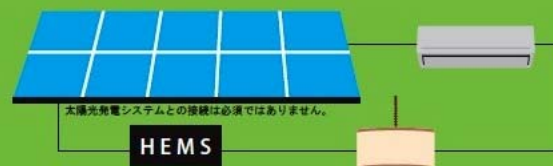
<http://www.kyoto-jkoshu.or.jp/sumai/>

<http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000164308.html>

京都府民のみならず！

最大 11 万円 ◆

HEMS に 補助金 があります。



京都府から
補助金最大
11万円

HEMS (ヘムス) とは
Home Energy Management System
(ホームエネルギー管理システム) の略
エネルギーの利用状況を見える化し、対応し
ている家電などをネットワークを通じて制御
することができる機能もあり、家庭の省エネ
を簡単にできるようにする為のシステムです。

京都府で
HEMS 機器を設置して
省エネする人を応援します！

条件
京都府インターネット環境家計簿、及び、京都府インターネット環境家
計簿内に設置する省エネ・節電情報共有コーナー (これを「ネガワット
発電所長クラブ」と呼びます) に登録し、電気使用量等の必要項目につ
いて、3 箇月以上の入力を行う方。

予約申込受付期間：平成 27 年 4 月 27 日～平成 28 年 2 月 29 日
交付申請受付期間：平成 27 年 4 月 27 日～平成 28 年 3 月 10 日
※年額 (予約含む) の合計額が予算額に達した場合、予約・申請受付期間であっても年額の受付を終了します。

詳しくは必ず /

<http://www.kcfca.or.jp/hems/> を確認ください。

京都府「府民ネガワット発電推進事業」

補助金情報のネタ探し

- Siiのホームページを参照

<https://sii.or.jp/>



- 京都産業21のメールマガジンに登録

<http://www.ki21.jp/>



- 中小企業庁の『補助金等公募案内』を参照

<http://www.chusho.meti.go.jp/koukai/koubo/>



- 京都府中小企業団体中央会の『助成事業案内』を参照

<http://www.chuokai-kyoto.or.jp/guide/josei/>

- 日本商工会議所の『小規模事業者持続化補助金』を参照

<http://h26.jizokukahojokin.info/>

- 京都産業エコエネルギー推進機構の『支援・補助事業』参照

<http://www.kyoto-eco.jp/support/2015/>

ご静聴ありがとうございました

